



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月11日

上場会社名 株式会社サガミホールディングス 上場取引所 東・名  
 コード番号 9900 URL <https://www.sagami-holdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 修二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理担当 (氏名) 中島 康文 (TEL) 052-737-6000  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	26,437	△0.7	55	△92.2	60	△92.0	△1,365	—
2019年3月期	26,636	1.7	715	△19.0	765	△20.3	76	△87.1

(注) 包括利益 2020年3月期 △1,430百万円(—%) 2019年3月期 99百万円(△77.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△51.83	—	△10.2	0.3	0.2
2019年3月期	2.90	—	0.5	4.0	2.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 -百万円 2019年3月期 -百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	18,570	12,526	67.3	474.79
2019年3月期	19,845	14,057	70.8	533.42

(参考) 自己資本 2020年3月期 12,512百万円 2019年3月期 14,056百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	222	△1,071	490	4,485
2019年3月期	1,111	△1,158	1,079	4,833

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	132	172.1	0.9
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

2021年3月期の配当につきましては、未定としております。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、適正かつ合理的な算出が困難であることから、現時点では未定とし、見通しが可能となった時点で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	26,501,784株	2019年3月期	26,501,784株
② 期末自己株式数	2020年3月期	16,841株	2019年3月期	16,722株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	26,353,310株	2019年3月期	26,352,164株

(注) 「株式給付信託（BBT）」制度に関する資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりますが、上記自己株式に含まれておりません。

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	2,576	—	△2	—	10	—	△1,006	—
2019年3月期	10,469	—	294	—	325	—	△195	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	△38.21		—					
2019年3月期	△7.41		—					

※ 当社は2018年10月1日より持株会社へ移行し、当社が営む飲食事業をサガミレストランズ株式会社に承継しましたので、2020年3月期及び2019年3月期の対前期増減率については記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	15,939	12,222	76.6	463.77
2019年3月期	16,778	13,389	79.8	508.11

(参考) 自己資本 2020年3月期 12,222百万円 2019年3月期 13,389百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信【添付資料】5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年4月1日から2020年3月31日)におけるわが国経済は、継続的な政府の経済政策や日銀の金融緩和策の効果によって、雇用情勢の改善を中心に緩やかな景気回復基調で推移したものの、相次ぐ自然災害や消費増税による消費マインドへの影響に加え、新型コロナウイルス感染症が世界経済に与える甚大な影響により、景気の先行きは極めて厳しく不安定な状況にあるといえます。

外食産業におきましても、原材料価格や物流コストの上昇、継続的な人材関連コストの上昇、消費志向やライフスタイルの変化に加え、2月以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による大規模イベントの中止や外出自粛要請等の影響を受け、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座をグループ全社で堅持しながら、店舗の改革を進めると共に、当社ビジョン「No.1 Noodle Restaurant Company」を共有し、①事業基盤の強化②収益力の向上③成長戦略の推進を柱に取り組みでまいりました。

各事業部門の概況は次のとおりであります。

#### 外食事業

##### ① 和食麺類部門

和食麺類部門では、当社主力業態である「和食麺処サガミ」において、全店販売促進企画として「クーポン券配布企画」を3回、「大感謝祭」を3回、「料理フェア」を7回、生ビールキャンペーンを1回実施いたしました。広告宣伝として、季節メニューをピックアップしたテレビCMを6回実施したことに加え、新たな取り組みとしてSKE48メンバーによる商品PR動画(YouTube)『話食推しメン処サガミ』を毎月1話、計12話(1話×3回、合計36回)リリースいたしました。また、5月1日は全店一斉休業を実施、2月25日に政府発表の新型コロナウイルス感染症対策の基本方針を受け、3月より80店舗の営業時間短縮を実施いたしました。これにより、既存店売上高は前年同一期間に対して1.4%減となり、既存店客数は前年同一期間に対して1.6%減、客単価が前年同一期間に対して0.2%増となりました。

店舗関係では、「和食麺処サガミ 金沢松村店」(5月)を石川県金沢市に出店し、「和食麺処サガミ 甚目寺店」(3月)を愛知県あま市、「和食麺処サガミ 東川口店」(3月)を埼玉県川口市に出店いたしました。一方で、契約満了により「和食麺処サガミ いずみ中央店」(4月)、「和食麺処サガミ 厚木文化会館前店」(9月)、「和食麺処サガミ 金沢文庫店」(12月)を閉鎖いたしました。

なお、当期末での店舗数は135店舗であります。

##### ② 味の民芸部門

味の民芸部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を9回、「スクラッチカード配布企画」を7回、「改元記念メニュー」、「うどん食べ放題企画」、「感謝祭」を各1回実施いたしました。

店舗関係では、「味の民芸 小田原店」(5月)、「味の民芸 桐生店」(3月)を閉鎖いたしました。

なお、当期末での店舗数はFC店舗を含み55店舗であります。

##### ③ どんどん庵部門

どんどん庵部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を9回実施したほか「どんどん祭」を3回実施いたしました。

店舗関係では、「どんどん庵 豊田逢妻店」(5月)を愛知県豊田市に出店し、「どんどん庵 神の倉店」(6月)を愛知県名古屋市中区に業態転換で出店、「どんどん庵 イオンタウン名西店」(3月)を愛知県名古屋市中西区に業態転換で出店いたしました。一方で、契約満了により「どんどん庵 イオン上飯田店」(2月)を閉鎖いたしました。

なお、当期末での店舗数はFC店舗を含み36店舗であります。

④ その他の部門

その他の部門では、団欒食堂「あいそ家」において、「料理フェア」を7回、「東邦高校優勝企画」を1回、「感謝祭」を2回実施したほか、大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「料理フェア」を8回、折込みチラシによるお客様感謝企画を2回実施いたしました。

国内店舗関係では、「濱町 上大岡店」(6月)、「水山 丸の内オアゾ店」(7月)、「たい夢 長良店」(10月)を閉鎖いたしました。

海外店舗関係では、ベトナムに「水山 タイバンルン店」(4月)を出店いたしました。一方で、「SAGAMI トンロー店」(12月)を閉鎖いたしました。

なお、当期末での店舗数はFC店舗を含み35店舗であります。

この結果、当連結会計年度の売上高は26,437百万円、営業利益は55百万円、経常利益は60百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は1,365百万円となり、当期末のグループ店舗数は261店舗となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、18,570百万円と前連結会計年度末に比べ1,274百万円の減少となりました。

流動資産は6,079百万円と前連結会計年度末に比べ101百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金348百万円の減少、原材料及び貯蔵品190百万円の増加、未収入金60百万円の増加によるものであります。

固定資産は12,490百万円と前連結会計年度末に比べ1,173百万円の減少となりました。これは主に建物及び構築物277百万円の減少、土地223百万円の減少、繰延税金資産184百万円の減少、のれん100百万円の減少、差入保証金170百万円の減少によるものであります。

流動負債は3,444百万円と前連結会計年度末に比べ153百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金117百万円の減少によるものであります。

固定負債は2,599百万円と前連結会計年度末に比べ408百万円の増加となりました。これは主に長期借入金482百万円の増加、資産除去債務57百万円の減少、長期未払金12百万円の減少によるものであります。

純資産は12,526百万円と前連結会計年度末に比べ1,530百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金1,498百万円の減少、その他有価証券評価差額金30百万円の減少によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて348百万円減少し、4,485百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は222百万円となりました。収入の主な内訳は減損損失1,278百万円であり、支出の主な内訳は税金等調整前当期純損失1,106百万円、法人税等の支払額94百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,071百万円となりました。支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出1,395百万円、貸付けによる支出46百万円、差入保証金の差入による支出23百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は490百万円となりました。収入の主な内訳は長期借入れによる収入1,028百万円であります。支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出391百万円、配当金の支払額131百万円であります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	71.0	74.6	77.5	70.8	67.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	173.5	193.5	199.3	169.5	171.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	132.8	115.5	30.2	148.8	1,022.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	109.1	210.0	393.8	419.9	60.7

(注) 自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

- ① 各指標は、いずれも連結ベース財務諸表により算出しております。
- ② 株式時価総額は、期末株価終値×自己株式控除後期末発行済株式総数により算出しております。
- ③ 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く環境は、人口減少や高齢化、異業種との競争などに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい環境が続くものと予測されます。

当社グループは、お客様及び従業員の安全を最優先に考え、あらゆる取り組みを進めるとともに、店舗休業や営業時間短縮などによる、収益影響を最低限に抑えるための取り組みを随時実施しておりますが、このような環境下においても、基本指針である、お客様起点の視座を堅持しながら、「事業基盤の強化」「収益力の向上」「成長戦略の推進」、CSV (Creating Shared Value) 経営の推進に取り組んでまいります。具体的には、従前より取り組んでいたCSRの取り組みを進化させ、ESG (Environment, Social, Governance) の取り組みを強化いたします。

また、営業店舗においては、テイクアウトやデリバリーなど、新たな販路を拡大するとともに、国内にて、主力業態である「和食麺処サガミ」「味の民芸」および小型FC業態の出店、海外にて、ASEANを中心に「SAGAMI」の出店を着実に進めてまいります。

なお、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の状況ならびに政府、自治体からの各種要請等により、本日時点でも47店舗が臨時休業し、その他の店舗においても営業時間の短縮等を実施しております。2020年5月4日には、緊急事態宣言が延長され、いまだ収束の目処がたたない状況にあります。こうした営業状況を踏まえ、現時点では業績に影響を与える未確定要素が多く、適正かつ合理的な算出が困難であることから2021年3月期の連結業績予想につきましては未定とし、今後の見通しが可能となった時点で速やかに公表いたします。

##### (新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報)

- ・当社グループは、飲食店の経営を主要な事業としており、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、店舗の臨時休業や時短営業の実施、外出自粛による来店客数の減少、個人消費の低迷が継続することが考えられます。この場合、経営成績及び財務状況に影響を与える可能性があります。
- ・当社グループは、外食店舗で使用する冷凍保存麺やかえし類についての生産拠点を愛知県一宮市、愛知県海部郡飛島村、埼玉県入間市に設置しております。従業員から新型コロナウイルス感染者が発生し、これらの生産拠点において、生産活動や店舗等への食材供給に支障をきたす事態が発生した場合、経営成績及び財務状況に影響を与える可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は、現在日本国内が中心であることから日本基準を適用しておりますが、今後は外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めて行く方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,833,473	4,485,255
受取手形及び売掛金	336,354	344,436
商品及び製品	93,343	107,273
原材料及び貯蔵品	297,090	487,717
その他	621,677	655,698
貸倒引当金	△809	△809
流動資産合計	6,181,128	6,079,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,522,737	13,861,349
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,980,945	△11,597,107
建物及び構築物(純額)	2,541,791	2,264,241
機械装置及び運搬具	3,046,806	3,161,455
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,630,509	△2,768,232
機械装置及び運搬具(純額)	416,296	393,223
工具、器具及び備品	988,432	1,040,697
減価償却累計額及び減損損失累計額	△886,036	△924,689
工具、器具及び備品(純額)	102,395	116,007
リース資産	332,285	336,282
減価償却累計額及び減損損失累計額	△273,270	△299,348
リース資産(純額)	59,014	36,933
土地	6,759,178	6,535,205
建設仮勘定	145,095	108,347
有形固定資産合計	10,023,772	9,453,959
無形固定資産		
のれん	503,293	402,634
その他	182,690	160,532
無形固定資産合計	685,983	563,166
投資その他の資産		
投資有価証券	693,817	637,569
長期貸付金	189,265	112,943
差入保証金	1,714,059	1,543,496
繰延税金資産	204,083	19,120
その他	153,061	160,362
投資その他の資産合計	2,954,286	2,473,491
固定資産合計	13,664,043	12,490,618
資産合計	19,845,171	18,570,189

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	698,716	581,686
1年内返済予定の長期借入金	348,060	487,932
未払金	1,789,939	1,779,337
未払法人税等	120,382	58,754
賞与引当金	198,450	135,893
店舗閉鎖損失引当金	14,682	19,225
その他	426,951	381,274
流動負債合計	3,597,183	3,444,104
固定負債		
長期借入金	1,306,382	1,789,298
長期未払金	211,523	199,386
株式給付引当金	23,189	23,235
退職給付に係る負債	1,405	2,677
資産除去債務	522,294	464,589
長期預り保証金	87,262	83,662
その他	38,526	36,333
固定負債合計	2,190,582	2,599,181
負債合計	5,787,765	6,043,285
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,178,109	7,178,109
資本剰余金	4,280,379	4,280,379
利益剰余金	2,682,907	1,184,507
自己株式	△186,413	△183,395
株主資本合計	13,954,982	12,459,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,165	63,206
為替換算調整勘定	7,587	△10,030
その他の包括利益累計額合計	101,752	53,176
非支配株主持分	670	14,127
純資産合計	14,057,405	12,526,904
負債純資産合計	19,845,171	18,570,189

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	26,636,971	26,437,378
売上原価	8,083,902	8,239,468
売上総利益	18,553,069	18,197,910
販売費及び一般管理費	17,837,511	18,142,695
営業利益	715,557	55,215
営業外収益		
受取利息	1,955	2,058
受取配当金	15,974	18,056
為替差益	53	19,257
受取保険金	10,598	4,053
雑収入	23,879	20,156
営業外収益合計	52,462	63,583
営業外費用		
支払利息	2,605	3,457
貸倒損失	—	46,042
雑損失	380	8,667
営業外費用合計	2,986	58,167
経常利益	765,034	60,631
特別利益		
事業譲渡益	—	80,000
保険解約益	24,000	14,000
投資有価証券売却益	—	25,300
その他	1,167	242
特別利益合計	25,167	119,542
特別損失		
固定資産除却損	10,177	6,231
投資有価証券評価損	166,849	—
減損損失	327,962	1,278,991
その他	—	1,352
特別損失合計	504,989	1,286,575
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前 当期純損失(△)	285,211	△1,106,402
法人税、住民税及び事業税	193,682	80,308
法人税等還付税額	—	△9,698
法人税等調整額	16,843	204,232
法人税等合計	210,526	274,842
当期純利益又は当期純損失(△)	74,685	△1,381,245
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△1,839	△15,269
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会 社株主に帰属する当期純損失(△)	76,524	△1,365,975

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	74,685	△1,381,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,324	△30,958
為替換算調整勘定	1,075	△17,831
その他の包括利益合計	24,399	△48,790
包括利益	99,085	△1,430,035
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	100,901	△1,414,551
非支配株主に係る包括利益	△1,816	△15,484

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,178,109	4,280,379	2,738,812	△185,743	14,011,557
当期変動額					
剰余金の配当			△132,429		△132,429
親会社株主に帰属する 当期純利益			76,524		76,524
自己株式の取得				△1,179	△1,179
自己株式の処分				508	508
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△55,904	△670	△56,575
当期末残高	7,178,109	4,280,379	2,682,907	△186,413	13,954,982

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	70,840	6,535	77,375	649	14,089,582
当期変動額					
剰余金の配当					△132,429
親会社株主に帰属する 当期純利益					76,524
自己株式の取得					△1,179
自己株式の処分					508
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	23,324	1,051	24,376	21	24,398
当期変動額合計	23,324	1,051	24,376	21	△32,176
当期末残高	94,165	7,587	101,752	670	14,057,405

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,178,109	4,280,379	2,682,907	△186,413	13,954,982
当期変動額					
剰余金の配当			△132,425		△132,425
親会社株主に帰属する 当期純利益			△1,365,975		△1,365,975
自己株式の取得				△162	△162
自己株式の処分				3,180	3,180
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△1,498,400	3,017	△1,495,382
当期末残高	7,178,109	4,280,379	1,184,507	△183,395	12,459,599

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	94,165	7,587	101,752	670	14,057,405
当期変動額					
剰余金の配当					△132,425
親会社株主に帰属する 当期純利益					△1,365,975
自己株式の取得					△162
自己株式の処分					3,180
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△30,958	△17,617	△48,576	13,456	△35,119
当期変動額合計	△30,958	△17,617	△48,576	13,456	△1,530,501
当期末残高	63,206	△10,030	53,176	14,127	12,526,904

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前 当期純損失(△)	285,211	△1,106,402
減価償却費	528,921	588,886
減損損失	327,962	1,278,991
のれん償却額	104,535	100,658
貸倒損失	—	46,042
為替差損益(△は益)	△53	△19,257
事業譲渡損益(△は益)	—	△80,000
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△25,300
投資有価証券評価損益(△は益)	166,849	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,863	△62,557
株式給付引当金の増減額(△は減少)	6,887	45
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,642	1,271
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	11,325	4,542
受取利息及び受取配当金	△17,930	△20,115
支払利息	2,605	3,457
固定資産除却損	10,177	6,231
受取保険金	△24,000	△14,000
売上債権の増減額(△は増加)	△63,223	△8,081
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,940	△204,557
仕入債務の増減額(△は減少)	51,841	△117,030
未払金の増減額(△は減少)	26,957	△139,325
その他	△15,867	55,113
小計	1,371,753	288,613
利息及び配当金の受取額	16,238	18,602
利息の支払額	△2,647	△3,667
保険金の受取額	24,000	14,000
法人税等の支払額	△297,586	△94,836
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,111,757	222,711
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,068,180	△1,395,528
有形固定資産の売却による収入	889	676
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の売却による収入	—	52,647
貸付けによる支出	△85,956	△46,676
差入保証金の差入による支出	△63,234	△23,473
差入保証金の回収による収入	112,218	259,428
事業譲渡による収入	—	80,000
その他	△53,856	1,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,158,121	△1,071,253

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,800,000	1,028,201
長期借入金の返済による支出	△547,254	△391,707
自己株式の取得による支出	△1,688	△162
配当金の支払額	△131,184	△131,987
非支配株主からの払込みによる収入	—	16,866
リース債務の返済による支出	△41,255	△33,750
自己株式の売却による収入	1,017	3,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,079,635	490,641
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,581	9,683
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,036,852	△348,217
現金及び現金同等物の期首残高	3,796,620	4,833,473
現金及び現金同等物の期末残高	4,833,473	4,485,255

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループの事業セグメントは、「外食事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	533円42銭	474円79銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	2円90銭	△51円83銭

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 「株式給付信託(BBT)」を導入しており、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式を1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めております。
- 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は148,474株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は147,541株であります。
- 3 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	76,524	△1,365,975
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る 親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	76,524	△1,365,975
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,352	26,353

(重要な後発事象)

該当事項はありません。